

東北地方 1 か月予報

(2 月 2 4 日から 3 月 2 3 日までの天候見通し)

平成 1 9 年 2 月 2 3 日
仙台管区气象台発表

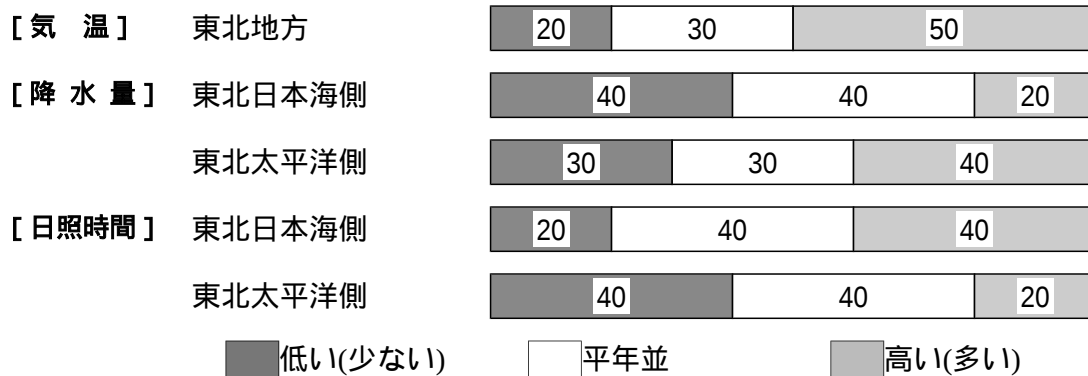
< 予想される向こう 1 か月の天候 >

向こう 1 か月の出現の可能性が最も大きい天候と特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

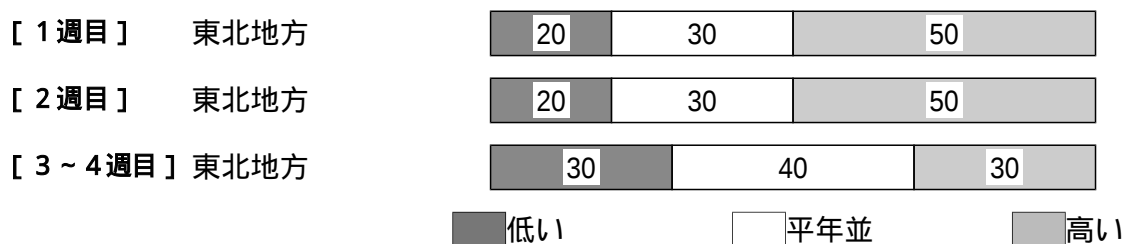
向こう 1 か月の平均気温は高い確率が 5 0 % です。降水量は東北日本海側で平年並または少ない確率がともに 4 0 % です。日照時間は東北日本海側で平年並または多い確率がともに 4 0 %、東北太平洋側で平年並または少ない確率がともに 4 0 % です。

週別の気温は、1 週目、2 週目ともに高い確率が 5 0 % です。

< 向こう 1 か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%) >



< 気温経過の各階級の確率 (%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2 月 2 4 日 (土) ~ 3 月 2 3 日 (金)
1 週目 : 2 月 2 4 日 (土) ~ 3 月 2 日 (金)
2 週目 : 3 月 3 日 (土) ~ 3 月 9 日 (金)
3 ~ 4 週目 : 3 月 1 0 日 (土) ~ 3 月 2 3 日 (金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報 : 毎週金曜日 1 4 時 3 0 分 次回は 3 月 2 日
3 か月予報 : 3 月 2 2 日 (木) 1 4 時

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	気 温()		
				1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
青森	1.1	69.8	115.2	-0.1	0.6	2.0
深浦	1.8	70.5	91.9	0.7	1.3	2.6
むつ	0.5	71.6	128.4	-0.5	0.0	1.3
八戸	1.4	46.0	151.2	0.2	0.8	2.2
秋田	2.3	84.7	109.1	1.2	1.8	3.2
盛岡	0.9	66.7	147.1	-0.4	0.3	1.8
大船渡	2.7	72.4	151.0	1.7	2.2	3.4
宮古	2.2	76.9	162.0	1.1	1.7	2.9
仙台	3.7	59.8	162.4	2.6	3.3	4.5
石巻	2.9	56.6	169.0	1.8	2.5	3.7
山形	2.1	61.1	127.3	0.8	1.6	3.0
新庄	1.1	105.2	95.0	0.0	0.7	1.9
酒田	3.4	93.4	101.4	2.3	2.9	4.2
福島	4.0	62.8	159.0	2.7	3.5	4.8
若松	2.0	58.8	121.2	0.6	1.4	2.9
白河	2.7	57.3	163.7	1.4	2.2	3.5
小名浜	5.5	83.5	171.7	4.5	5.1	6.2

なお、気温、降水量、日照時間の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971 ～ 2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	83 ～ 111	94 ～ 107
東北日本海側	-0.5 ～ +0.5	89 ～ 107	93 ～ 107
東北太平洋側	-0.5 ～ +0.6	79 ～ 116	96 ～ 105

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +0.8	-0.6 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.5
東北日本海側	-0.8 ～ +0.7	-0.6 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.6
東北太平洋側	-0.8 ～ +0.8	-0.7 ～ +0.6	-0.4 ～ +0.5

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温（降水量）等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971 ～ 2000 年の 30 年間に於ける各階級の出現率が等分（それぞれ 33 %）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）予報する確率の数値は、それぞれの階級が出現する可能性の大きさを表しています。予測資料の信頼性が大きい場合には気候的出現率から大きく隔たった 10 % 以下や 60 % 以上の確率を付けられますが、特定の階級を強調できない場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30 %、40 %）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 19 年 2 月 23 日 仙台管区気象台

1. 出現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月 (2 月 24 日～3 月 23 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が 50% です。

1 週目 (2 月 24 日～3 月 2 日) :

東北日本海側では気圧の谷や寒気の影響で北部を中心に曇りや雪または雨の日が多いですが、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れるでしょう。東北太平洋側では高気圧に覆われて、晴れる日が多い見込みです。

平均気温は高い確率が 50% です。

2 週目 (3 月 3 日～3 月 9 日) :

天気は数日の周期で変わり、東北太平洋側では低気圧の影響を受けやすいでしょう。東北日本海側では平年に比べ晴れの日が多く、東北太平洋側では平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

平均気温は高い確率が 50% です。

3～4 週目 (3 月 10 日～3 月 23 日) :

天気は数日の周期で変わるでしょう。東北日本海側では平年と同様に曇りや雨または雪の日が多く、東北太平洋側では平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

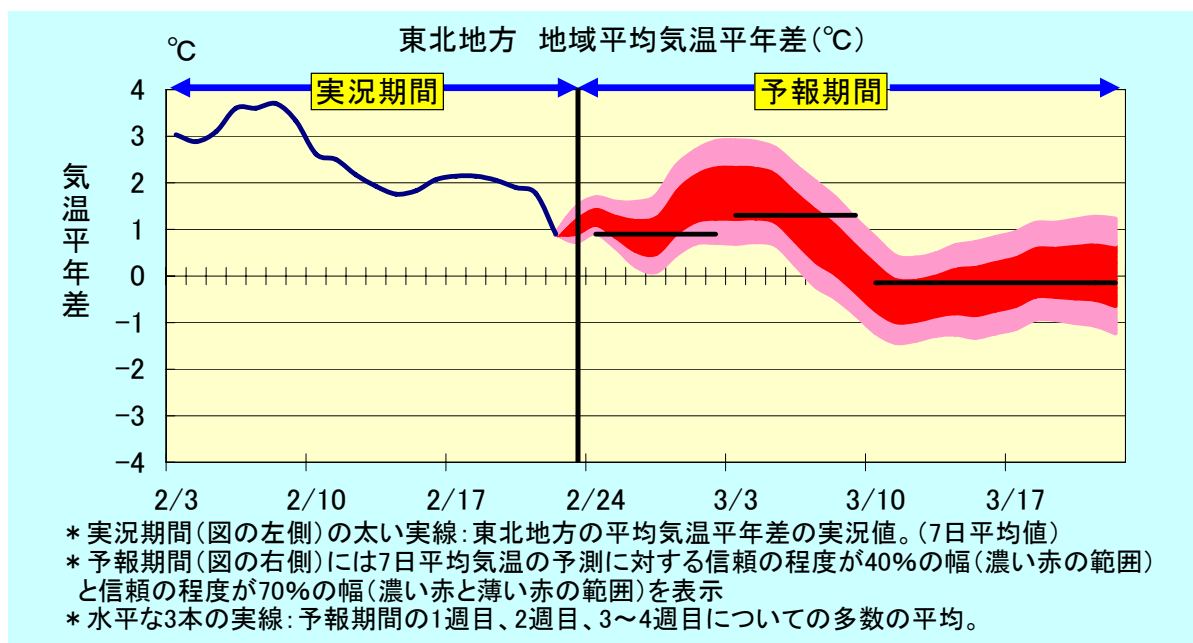
平均気温は各階級の確率の偏りは小さい。

平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3～4 週目
東北日本海側	10.9 日	2.2 日	2.6 日	6.1 日
東北太平洋側	17.9 日	4.3 日	4.7 日	8.9 日

2. 東北地方の平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別のアンサンブル平均気温は、1 週目と 2 週目は平年を上回り、3～4 週目は平年並付近の予想となっている。なお、数値予報の信頼度は大きい。

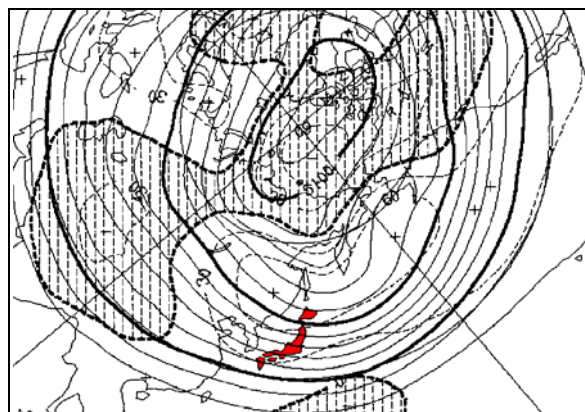


3. 1か月平均と1, 2週目の上空の大気の流れの予想 (500 hPa 予想天気図)

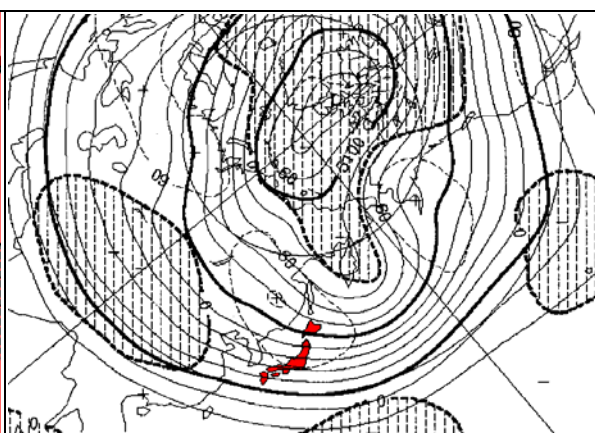
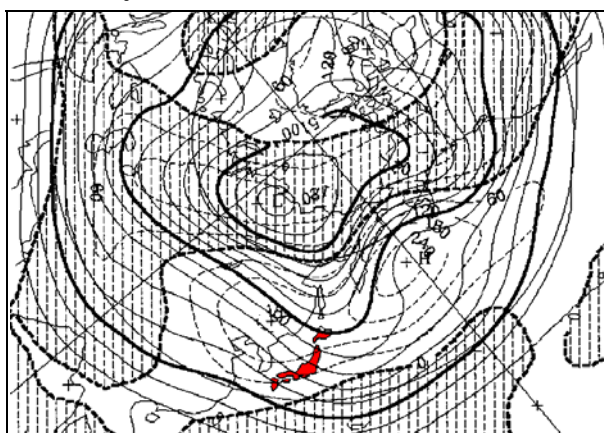
1か月平均: 太平洋から大陸にかけて帯状に広がる正偏差に覆われている。一方、極付近は負偏差で、中緯度域には寒気が南下しにくい。このため東北地方に寒気が持続的に南下する可能性は小さく、気温は高くなる可能性が高い。

1週目: 太平洋から大陸にかけて帯状に広がる正偏差に覆われている。一方、本州の南東海上は負偏差。日本付近の偏西風の流れは北西流で、太平洋側では晴れる日が多い見込み。気温は高くなる可能性が大きい。

2週目: 1週目から引き続き正偏差に覆われるが、南東海上の負偏差は弱まり、偏西風の流れは東西流が卓越。東北太平洋側は低気圧の影響を受けやすい見込み。気温は引き続き高くなる可能性が大きい。



1か月平均 500hPa 予想天気図
(図の見方は1, 2週目と同じ
ただし年平均差の間隔は30m毎)



1週目平均 500 hPa 予想天気図

2週目平均 500 hPa 予想天気図

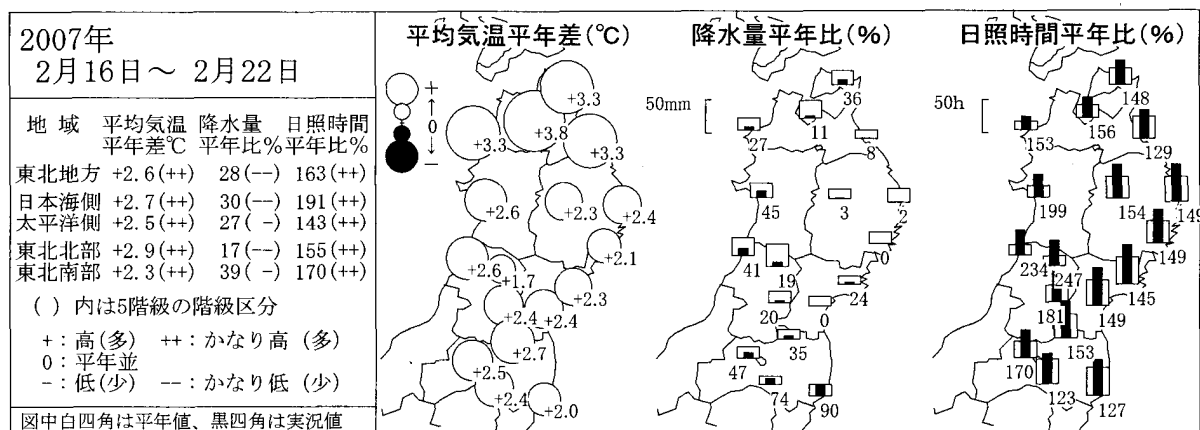
実線は、等高度線（間隔 60m）、点線は、年平均差（間隔 60m）

陰影部は、負偏差で一般に寒気に対応する 白抜きは、正偏差で一般に暖気に対応する

4. 最近1週間（2月16日～2月22日）の天候の経過

この期間、天気は数日の周期で変化し、冬型の気圧配置となる日は少なかった。また、移動性高気圧に広く覆われて東北全域で晴れる日もあった。このため、東北地方の日照時間は平年に比べかなり多く、気温は平年よりかなり高かった。16日は低気圧が東海上で発達したため一時的に冬型の気圧配置が強まり、日本海側を中心に雪が降った。18日は本州の南岸を低気圧が東進したが、東北地方への影響は小さかった。

平均気温は東北地方でかなり高い。降水量は東北北部でかなり少なく、東北南部で少ない。日照時間は東北地方でかなり多い。



最近1週間の平均気温、降水量及び日照時間の平年差（比）